

## 1. 実施概要

➤ 近年の交通に関する課題や市民のニーズ等を把握するため、札幌市民を対象としたアンケート調査を実施

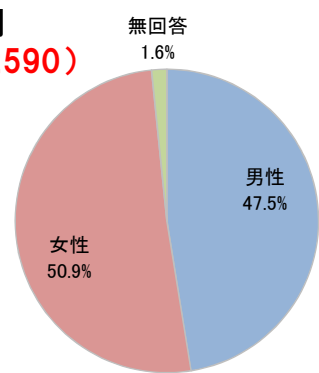
調査概要	
調査方法	①WEBアンケート（18歳以上対象） ②郵送アンケート（上記①の補足調査。65歳以上の高齢者のみ対象）
調査時期	①平成29年10月23日～31日（スクリーニング調査後、本調査実施） ②平成29年10月16日～31日
サンプル数	①スクリーニング調査：8,307票回収、本調査：1,696票回収 ②1,800票配布、894票回収（回収率50%）
対象者の抽出条件	①スクリーニング条件：直近の2週間で外出ありの人を対象。WEBアンケートモニターより各区ごとの性別・年齢階層別に偏りがないように抽出 ②住民基本台帳より各区ごとの性別・年齢階層別人口に偏りがないように抽出
実施の目的	➤以下の4つのテーマについて分析 ・公共交通利用者増加要因 ・高齢者の交通特性 ・若者の車離れ ・都心・郊外の来訪状況 ➤交通需要予測の見直しに活用

## 2 基礎集計

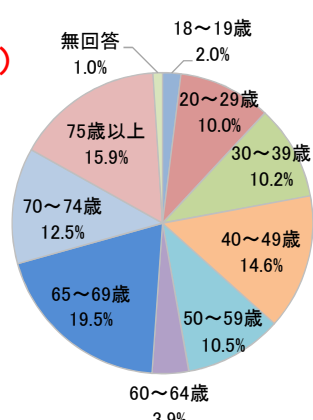
### (1) 回答者の属性

○web本調査+郵送調査※

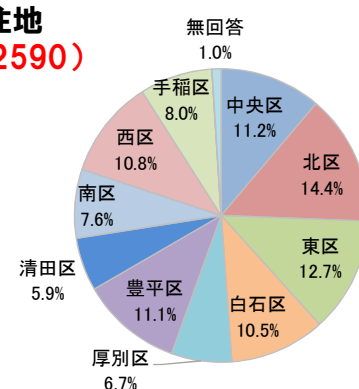
・性別  
(N=2590)



・年齢  
(N=2590)



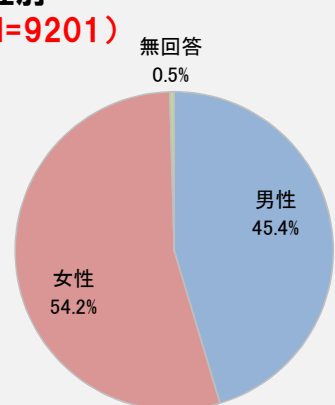
・居住地  
(N=2590)



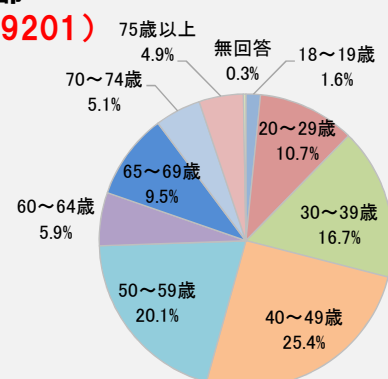
※ 以降、特別な表記がない場合は、「web本調査+郵送調査」の集計結果とし、年齢階層別の結果を示す場合は、年齢が無回答だった26票を除いた結果(N=2564)とする。

【参考】web（スクリーニング+本調査）+郵送調査

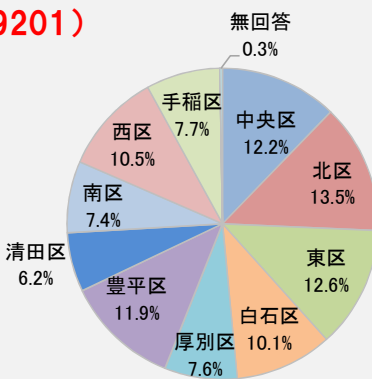
・性別  
(N=9201)



・年齢  
(N=9201)



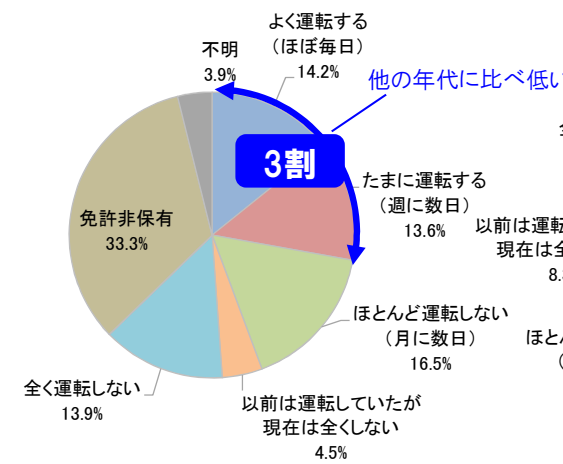
・居住地  
(N=9201)



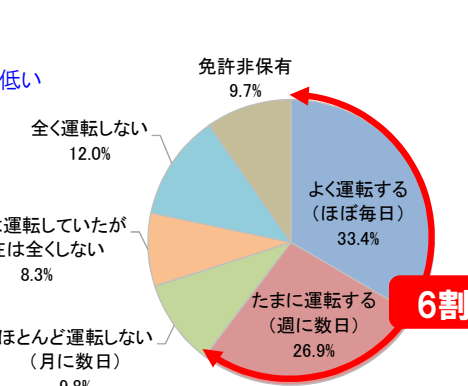
### (2) 運転頻度、外出率

【設問】自動車の運転頻度

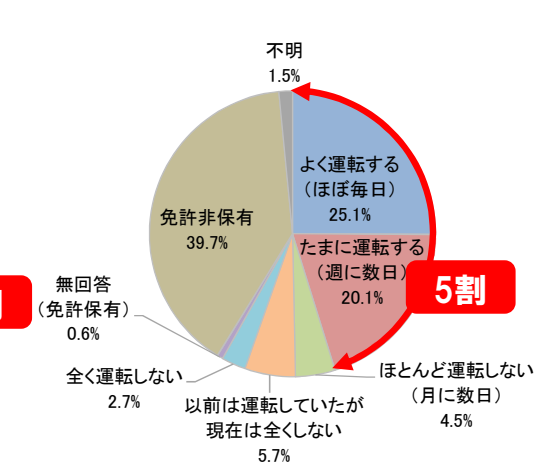
○18~29歳 N=309



○30~64歳 N=1015



○65歳以上 N=1240

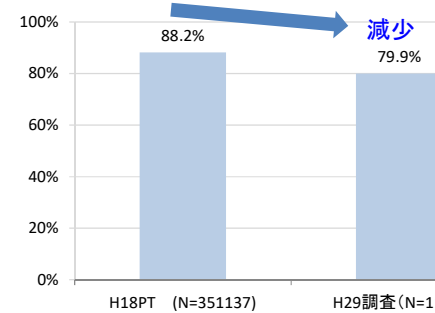


【設問】外出率

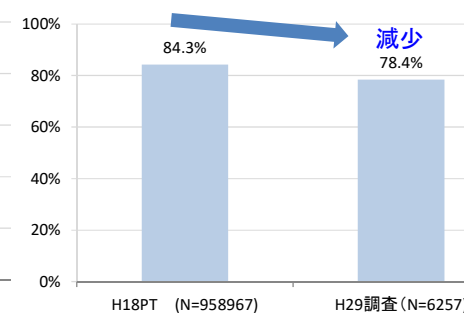
■web（スクリーニング+本調査）+郵送調査（無回答除く）

H29調査は火・水・木曜日の平均

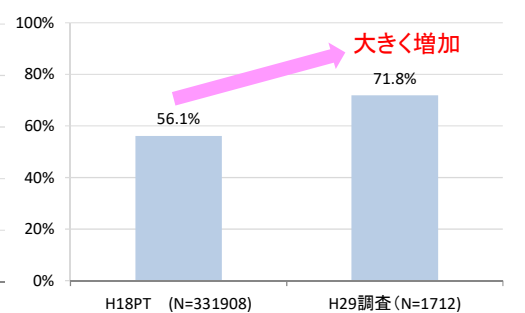
○18~29歳



○30~64歳

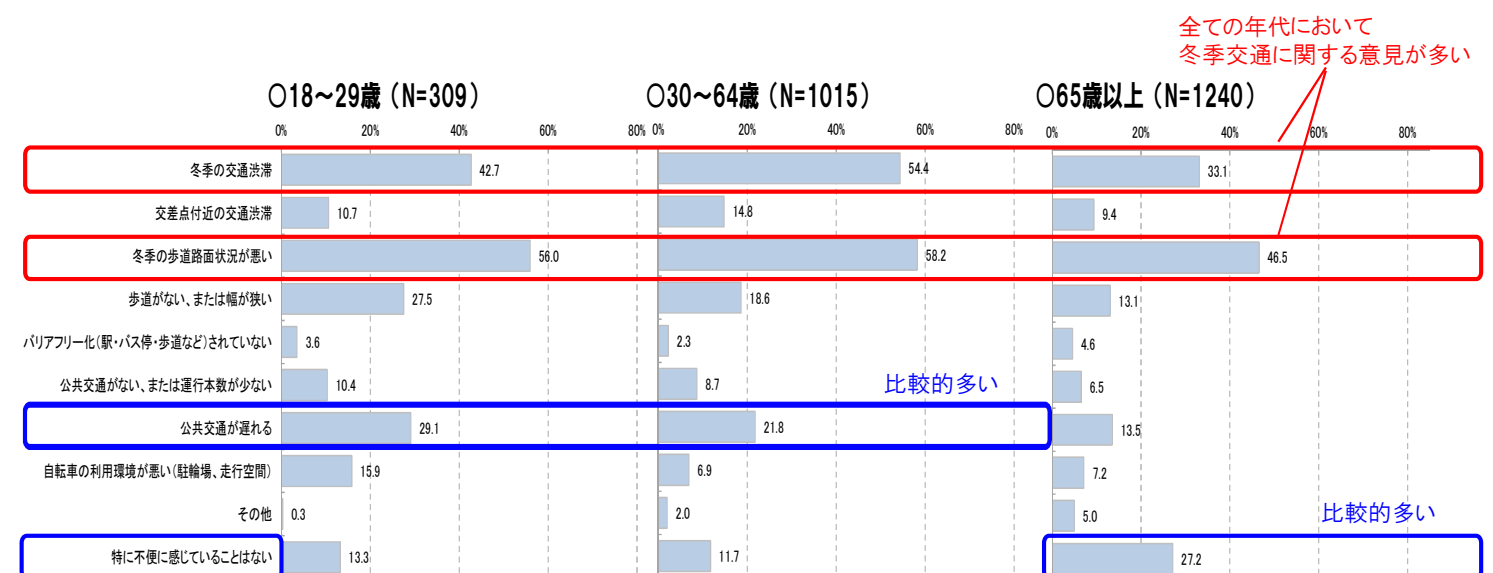


○65歳以上



### (3) 不便に感じていること

【設問】外出する際の道路交通や公共交通に関して、特に不便に感じていること(複数回答:3つまで)



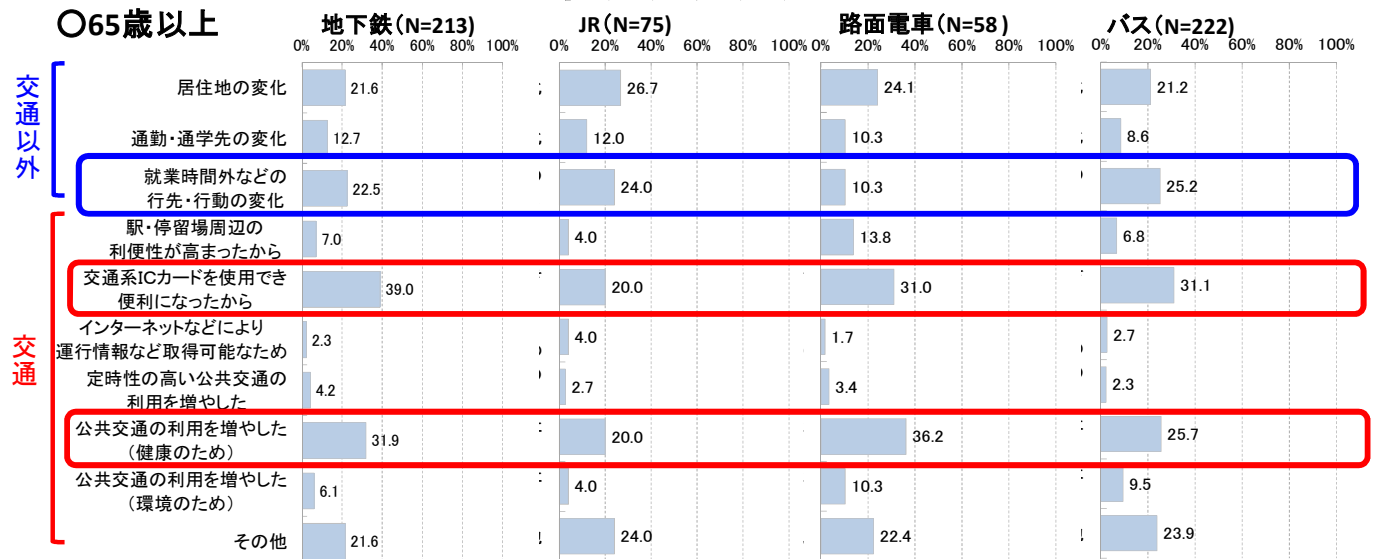
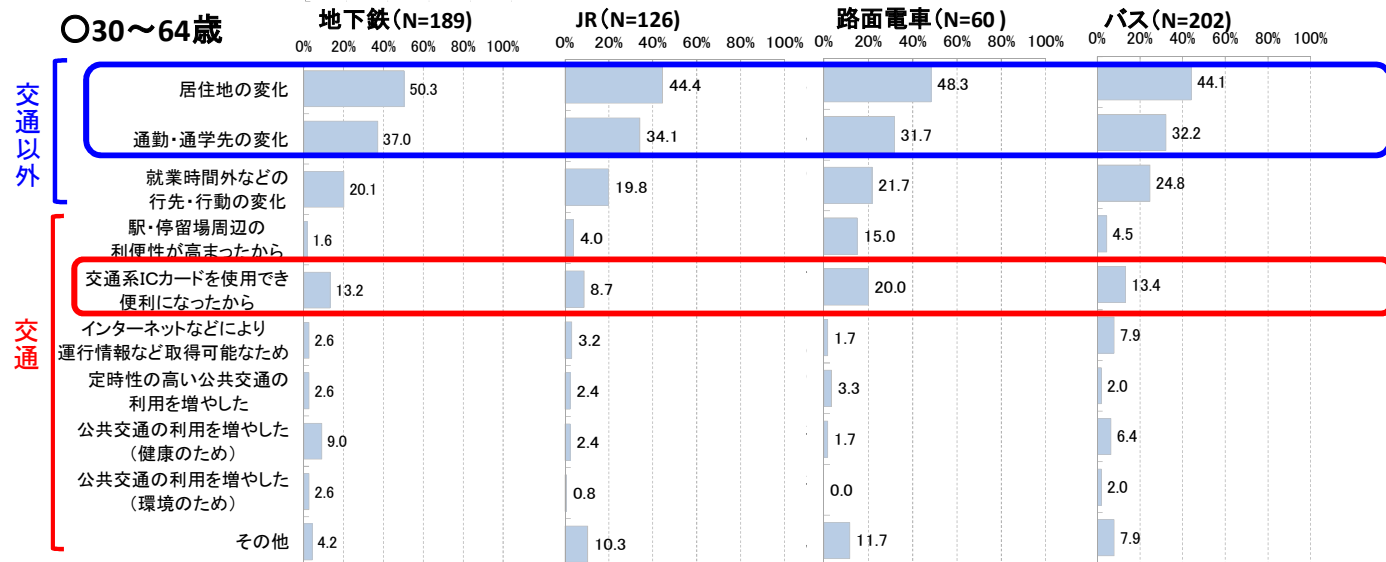
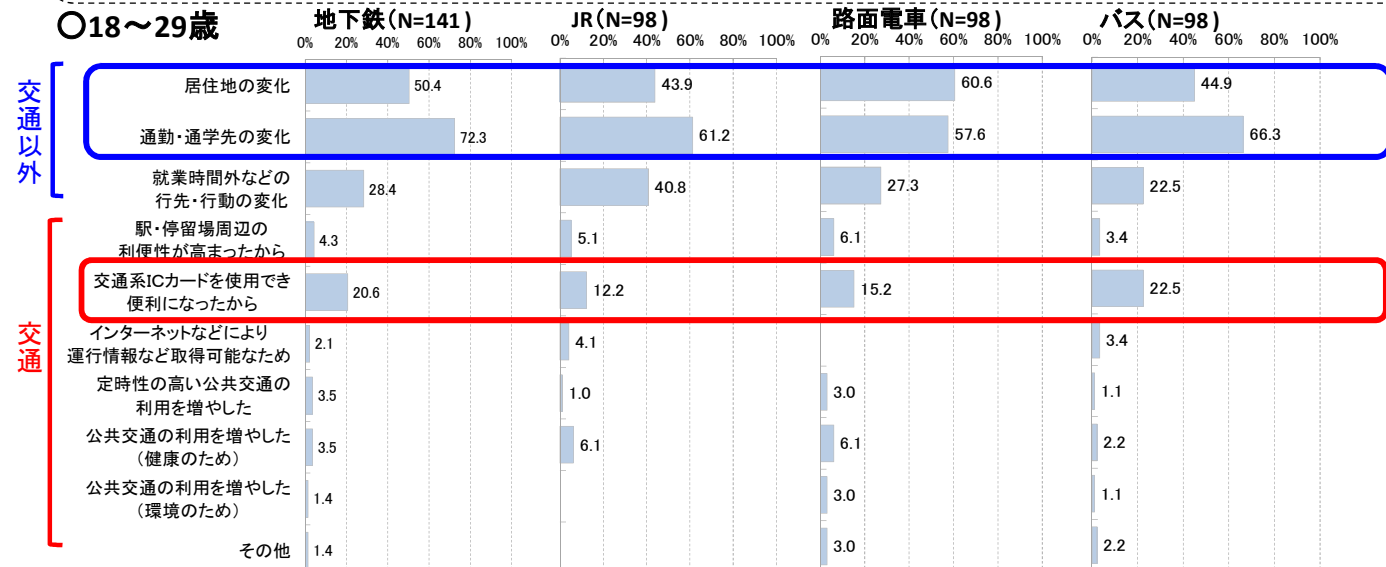
# 市民アンケートの結果

## 3 テーマ別分析

### (1) 公共交通利用者増加要因

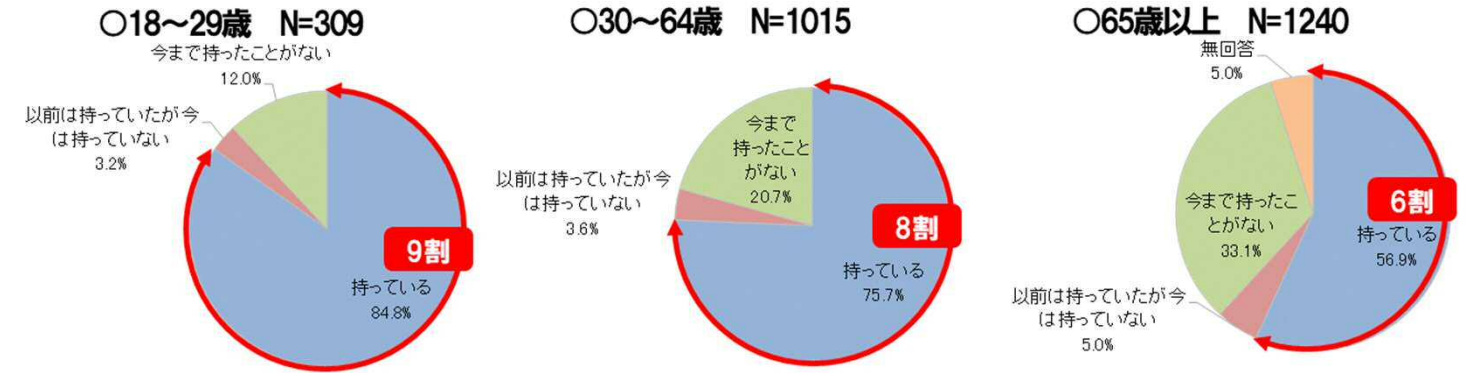
【設問】10年前と比べ、公共交通機関を利用する頻度が増えた理由（複数回答）

- 交通以外では、18～29歳、30～64歳は「居住地の変化」「通勤・通学先の変化」が高く、65歳以上は「就業時間外や余暇時間の行先・行動の変化」が比較的高い
- 交通関連では、全年齢で「交通系ICカード導入」が高く、65歳以上は「健康意識の向上」も高い



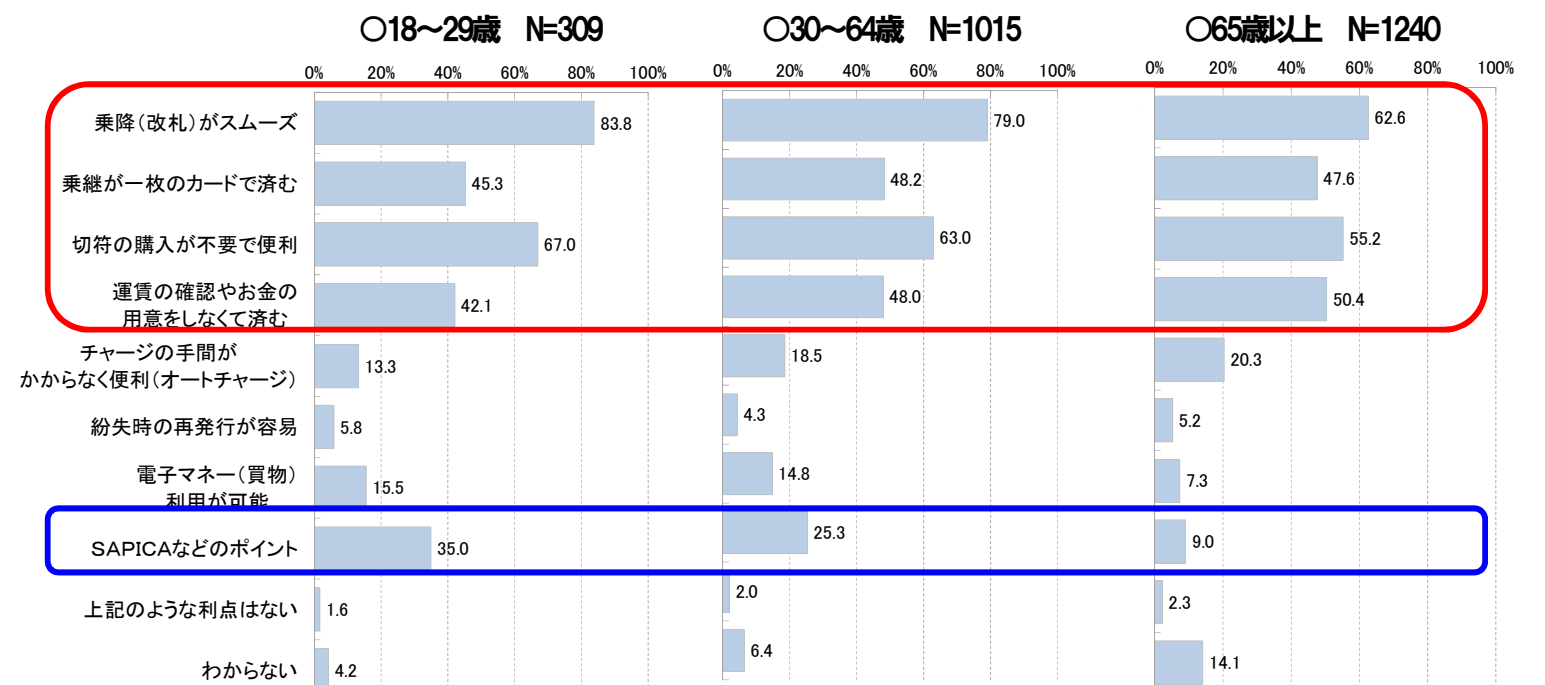
【設問】SAPICA等の交通系ICカードの所有状況

- 交通系ICカードは、年齢層が低いほど所有率が高い



【設問】SAPICA等の交通系ICカードの利点（複数回答）

- 全年齢層において、「乗降（改札）がスムーズ」「切符の購入が不要で便利」「乗降が1枚のカードで済む」「運賃の確認やお金の用意をしなくて済む」など、手間がかからずに乗降できることを評価
- 18～29歳、30～64歳では、「SAPICAなどのポイント」も利点に挙げている



# 市民アンケートの結果

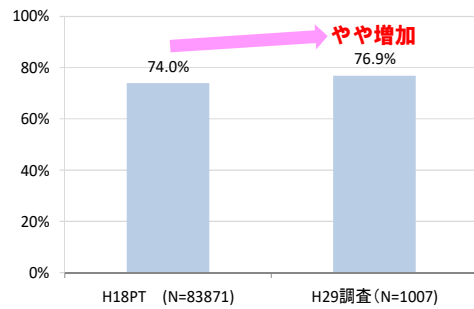
## (2) 高齢者の交通特性

### 【設問】外出率

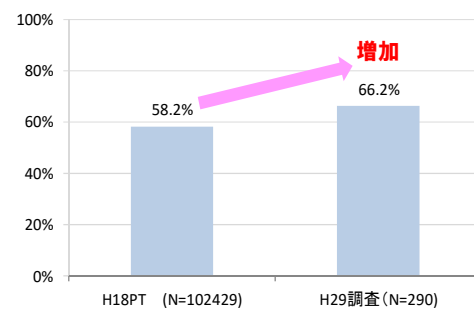
- 免許非保有者に比べ免許保有者が高く、高齢者の外出時における自動車依存傾向は高いと推察される
- H18と比較すると全てにおいて増加しており、特に75歳以上の増加率が大きい

■web（スクリーニング+本調査）+郵送調査 ※無回答を除く

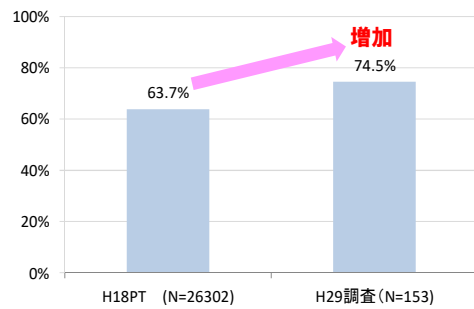
○65～74歳 免許保有



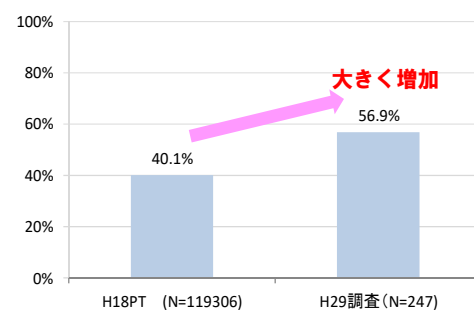
○65～74歳 免許非保有



○75歳以上 免許保有



○75歳以上 免許非保有

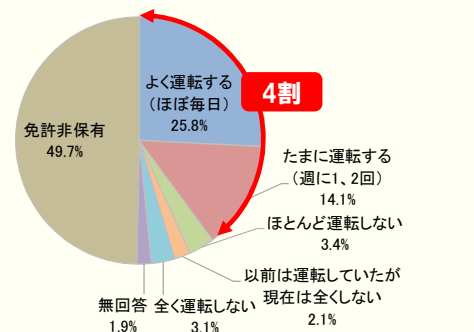


### 【設問】自動車の運転頻度

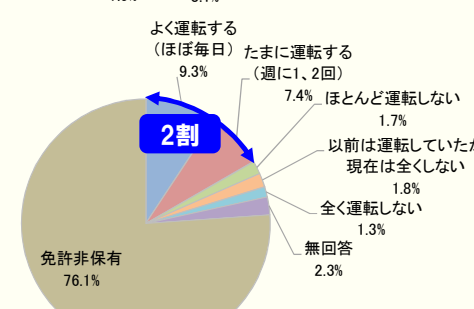
- 65～74歳のうち、週1回以上運転する人は、4割から5割に増加
- 75歳以上のうち、週1回以上運転する人は、2割から3割に増加しており、高齢者の自動車を運転する人の割合は増加傾向

■H18調査【道央PTライフスタイル調査】

○65～74歳  
N=3867

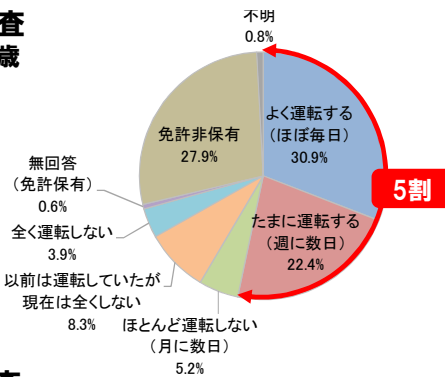


○75歳以上  
N=2549



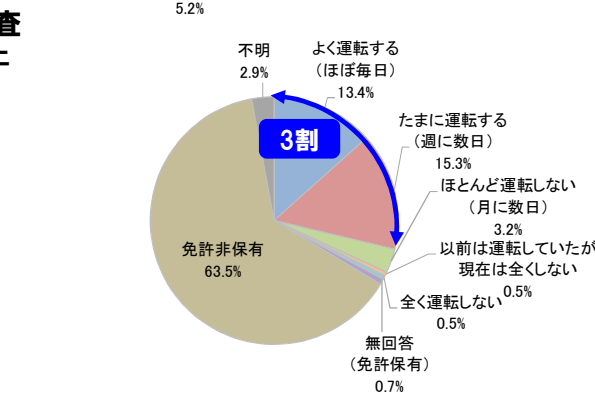
■H29調査

○65～74歳  
N=829



■H29調査

○75歳以上  
N=411



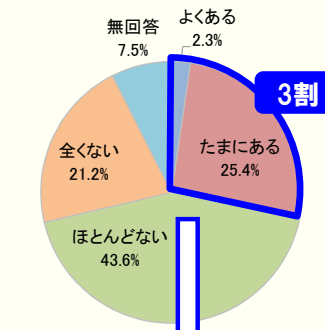
### 【設問】現在感じる、自動車の運転の負担や不安 (65～74歳)

※運転頻度について、よく運転する、たまに運転する、ほとんど運転しないと回答した人を対象

- 自動車の運転に負担・不安を感じる人の割合は3割から4割に増加。このうち、「車でないと不便」という理由で運転している人は2割から5割に増加

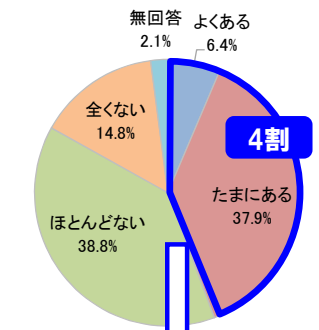
■H18調査【道央PTライフスタイル調査】

○65～74歳  
N=1673



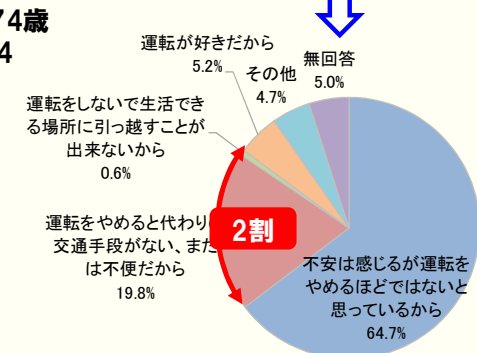
■H29調査

○65～74歳  
N=485

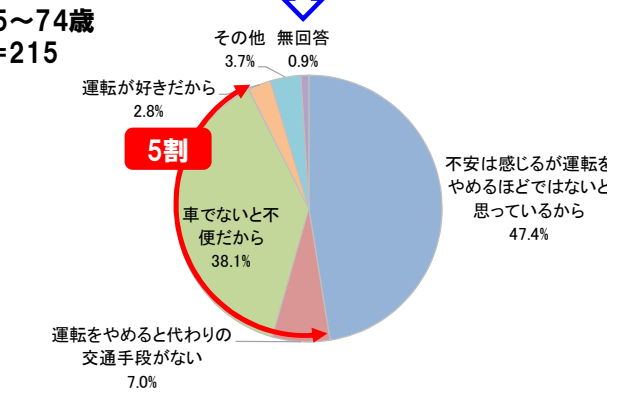


### 【設問】負担や不安があっても運転をする理由

○65～74歳  
N=464



○65～74歳  
N=215



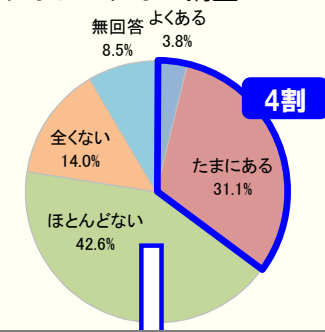
### 【設問】現在感じる、自動車の運転の負担や不安 (75歳以上)

※運転頻度について、よく運転する、たまに運転する、ほとんど運転しないと回答した人を対象

- 自動車の運転に負担・不安を感じる人の割合は横ばい。このうち、「車でないと不便」という理由で運転している人は2割から4割に増加 (65歳～74歳と同傾向)

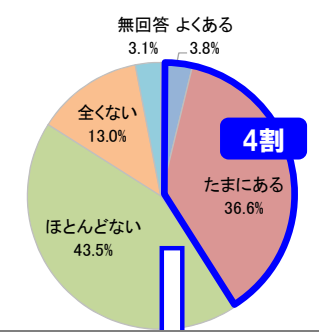
■H18調査【道央PTライフスタイル調査】

○75歳以上  
N=470



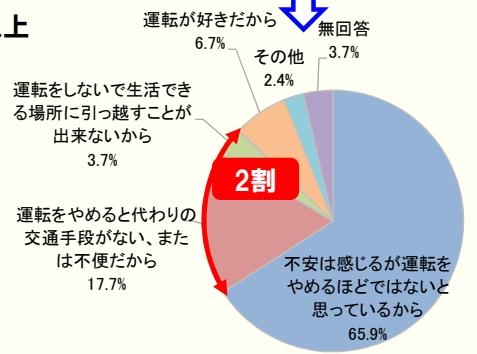
■H29調査

○75歳以上  
N=131

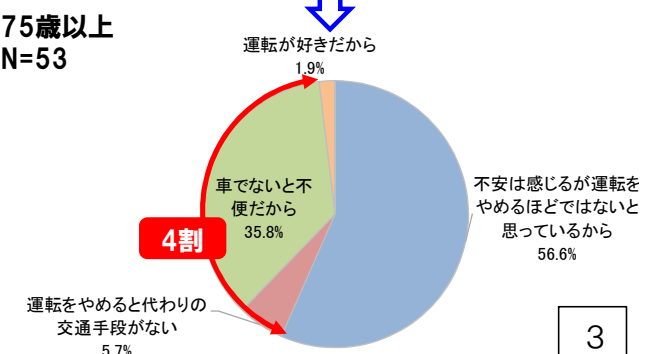


### 【設問】負担や不安があっても運転をする理由

○75歳以上  
N=164



○75歳以上  
N=53

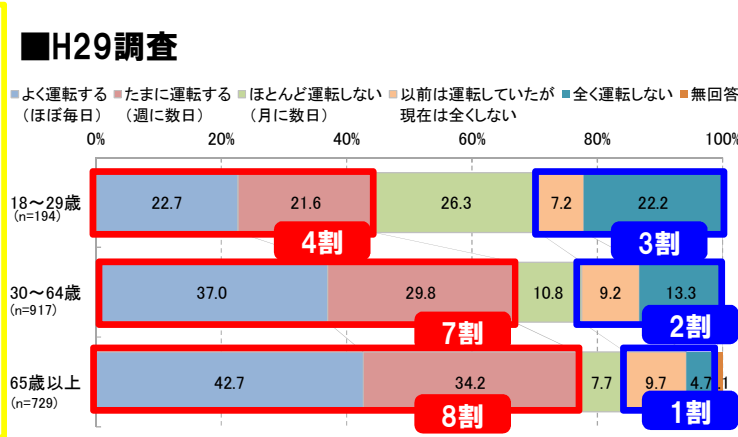
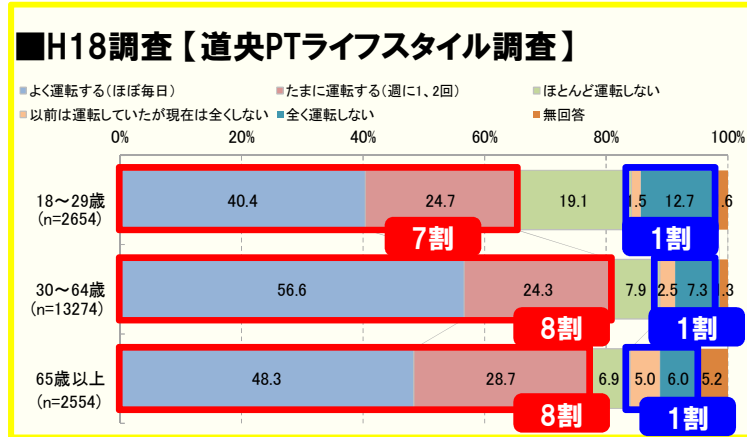


# 市民アンケートの結果

## (3) 若者の車離れ

### 【設問】自動車の運転頻度 ※免許非保有者を除く

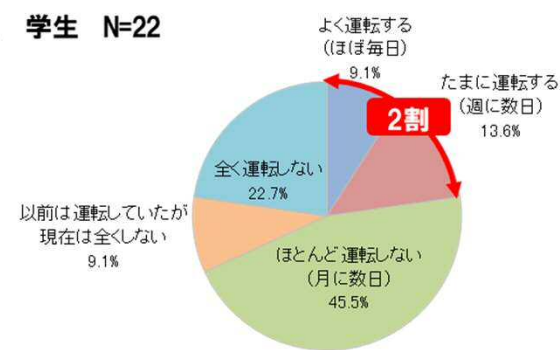
- 18～29歳のうち、週1回以上運転する人は、7割から4割に減少。また、全く運転しない人は1割から3割に増加しており、若者の車離れが起きていると推察される



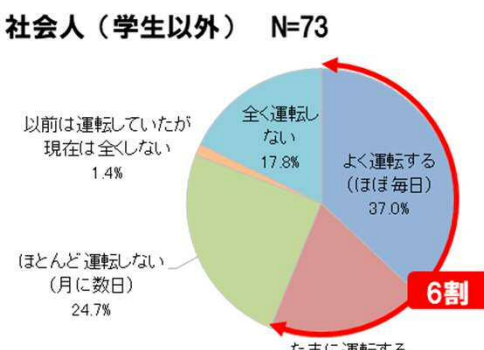
### 【設問】自動車の運転頻度：18～29歳 性別職業別の比較 ※免許非保有者を除く

- 18歳～29歳の自動車の運転頻度について、性別職業別に分析
- 学生は男女共に、運転する割合が低い
- 社会人は、学生に比べて男女共に運転する割合が高いが（特に男性が高い）、他の年代に比べると低い

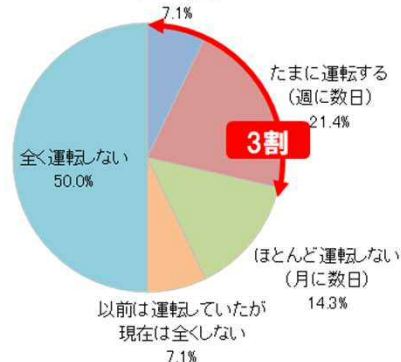
#### ○男性 学生 N=22



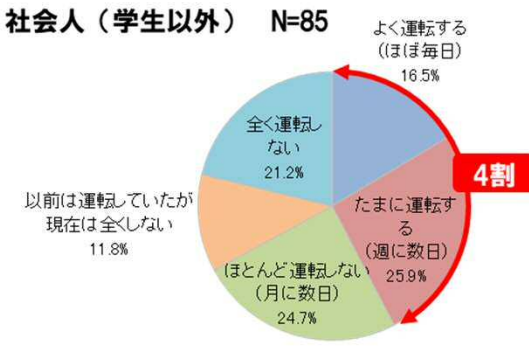
#### ○男性 社会人(学生以外) N=73



#### ○女性 学生 N=14



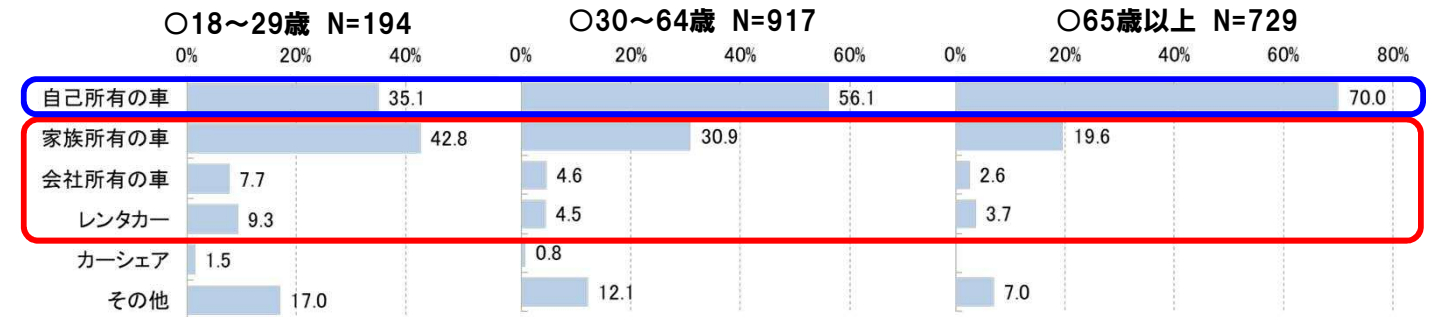
#### ○女性 社会人(学生以外) N=85



### 【設問】最近の自動車の利用形態(複数回答) ※免許非保有者を除く

- 自動車の利用形態について、18～29歳は他の年代に比べて「自己所有の車」が低く、「家族所有の車」「会社所有の車」「レンタカー」が高い

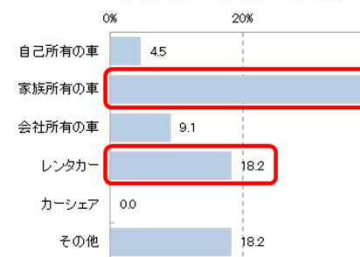
#### ■H29調査



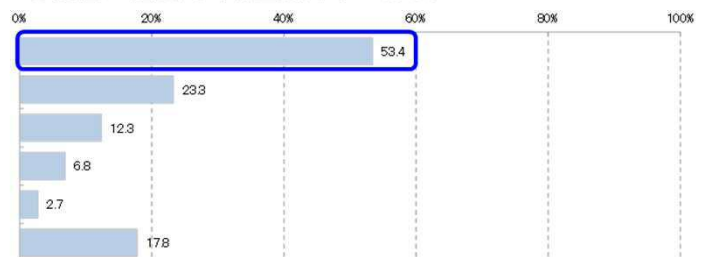
### 【設問】最近の自動車の利用形態：18～29歳 性別職業別の比較(複数回答) ※免許非保有者を除く

- 18歳～29歳の自動車の利用形態について、性別職業別に分析
- 学生は男女共に、「家族所有の車」や「レンタカー」の割合が高い
- 男性の社会人は、「自己所有の車」が高いが、女性の社会人は、「家族所有の車」が高い

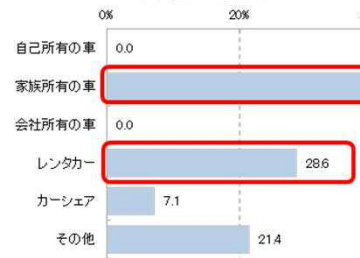
#### ○男性 学生 N=22



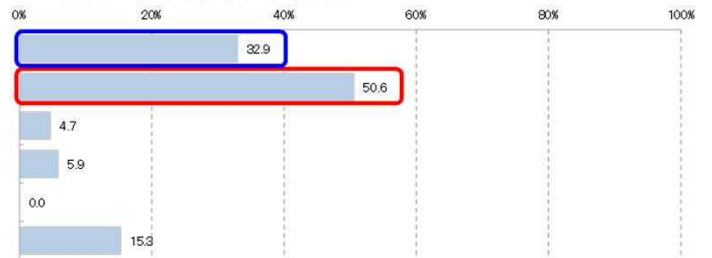
#### ○男性 社会人(学生以外) N=73



#### ○女性 学生 N=14



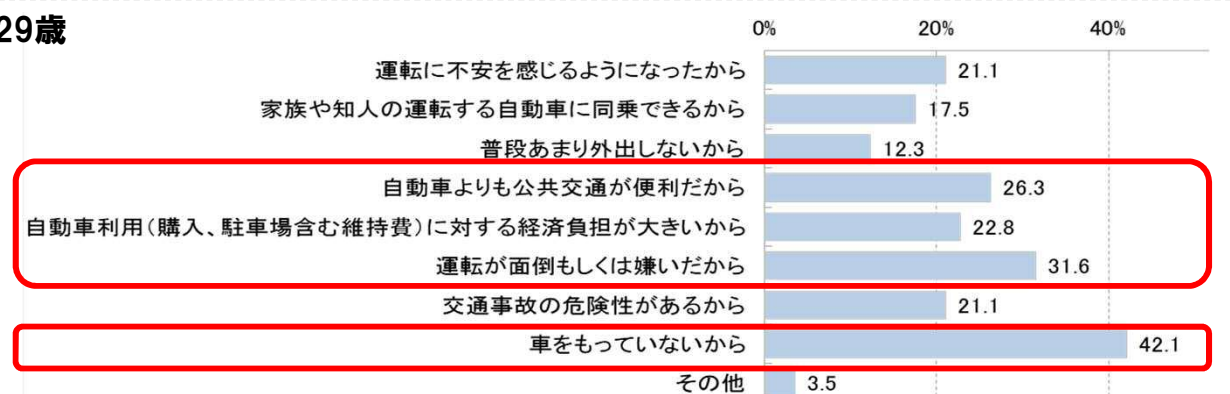
#### ○女性 社会人(学生以外) N=85



### 【設問】自動車を運転しない理由

- 運転しない人の理由は、「自動車よりも公共交通が便利」「自動車利用に対する経済負担」「運転が面倒、嫌い」「車をもっていない」が高く、経済的側面や、車への関心の低さなどから運転しない人が多い

#### ○18～29歳 N=57



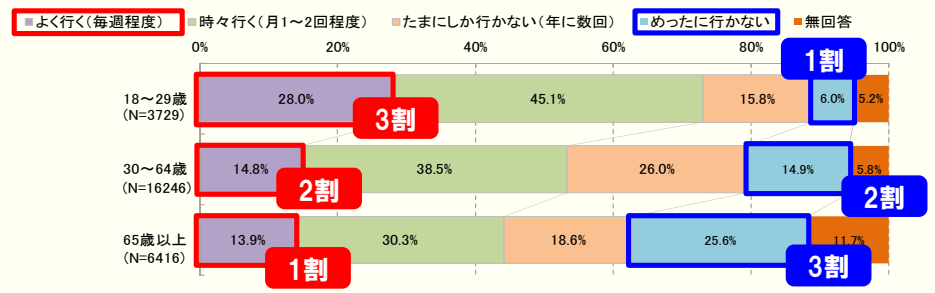
# 市民アンケートの結果

## (4) 都心・郊外の来訪状況

### 【設問】買い物や娯楽などで「札幌都心部」に行く頻度

- H18調査と比較して、全年齢層において**毎週行く人は増加**、**ほとんど行かない人は減少傾向**であり、近年都心の求心力が回復していると推察される
- 年齢層が高いほど、都心へ行く頻度は少ない

### ■H18調査【道央PTライフスタイル調査】



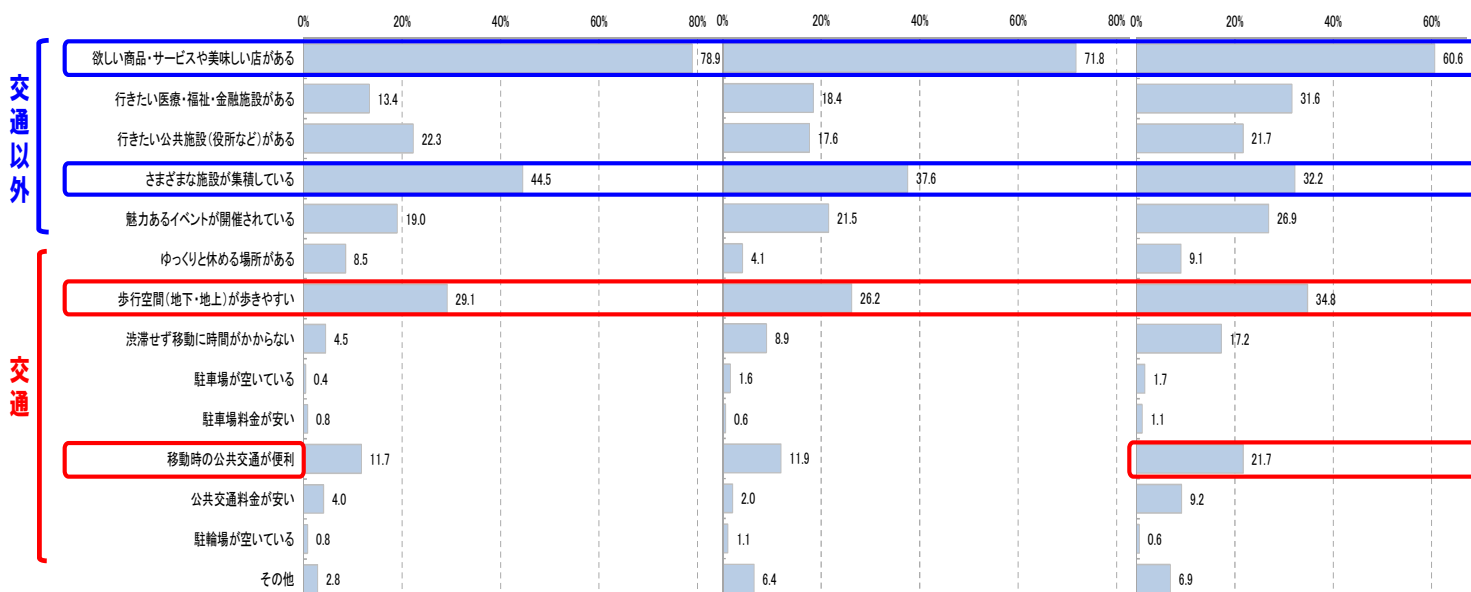
### ■H29調査



### 【設問】買い物や娯楽などの私用目的で、「札幌都心部」へ行く理由(複数回答)

- 交通以外では、「**欲しい商品・サービスや美味しい店がある**」「**さまざまな施設が集積している**」が高い
- 交通関連では、「**歩行空間(地下・地上)が歩きやすい**」が最も高く、65歳以上は「**移動時の公共交通が便利**」も高い

### 〇18~29歳 N=247    〇30~64歳 N=641    〇65歳以上 N=696

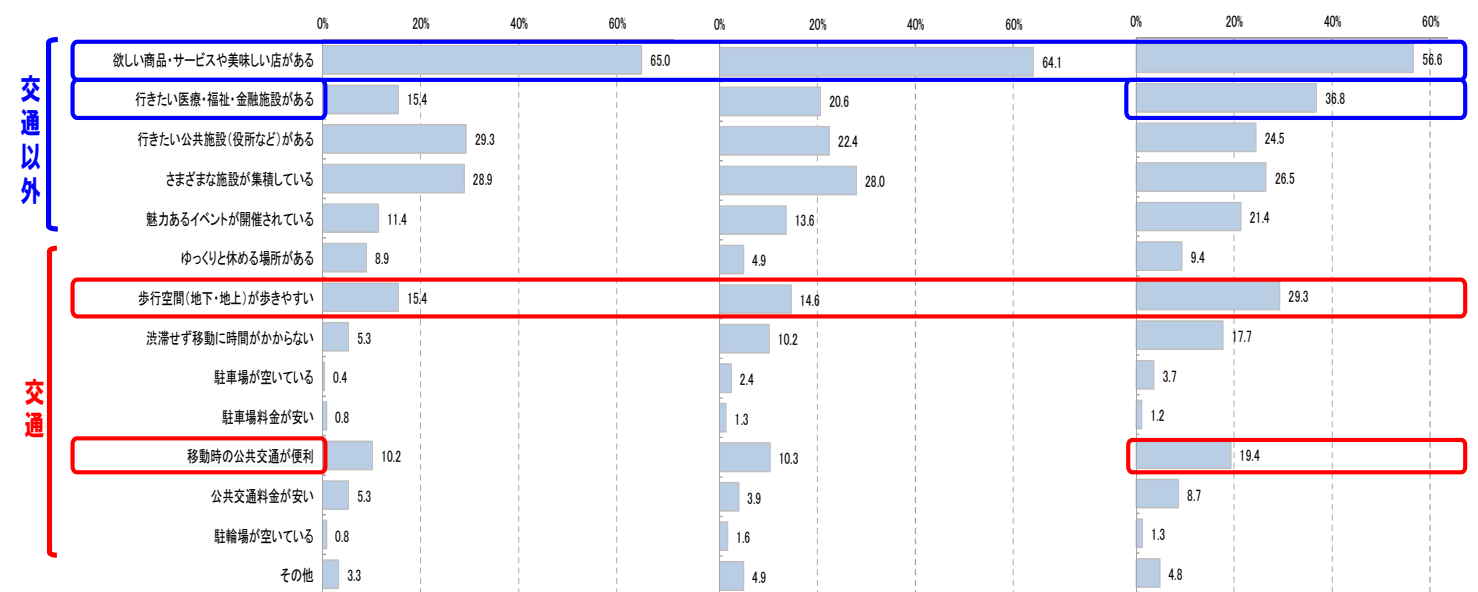


※行く頻度について、ほぼ毎日、週に数日、月に数日と回答した人を対象

### 【設問】買い物や娯楽などの私用目的で、「札幌市の地下鉄・JR駅周辺」へ行く理由(複数回答)

- 交通以外では、「**欲しい商品・サービスや美味しい店がある**」が最も高く、65歳以上は「**行きたい医療・福祉・金融施設がある**」も高い
- 交通関連では、都心と同様、「**歩行空間(地下・地上)が歩きやすい**」が最も高いが、全年齢で都心より低い。都心と同様、65歳以上は「**移動時の公共交通が便利**」も高い

### 〇18~29歳 N=246    〇30~64歳 N=669    〇65歳以上 N=682

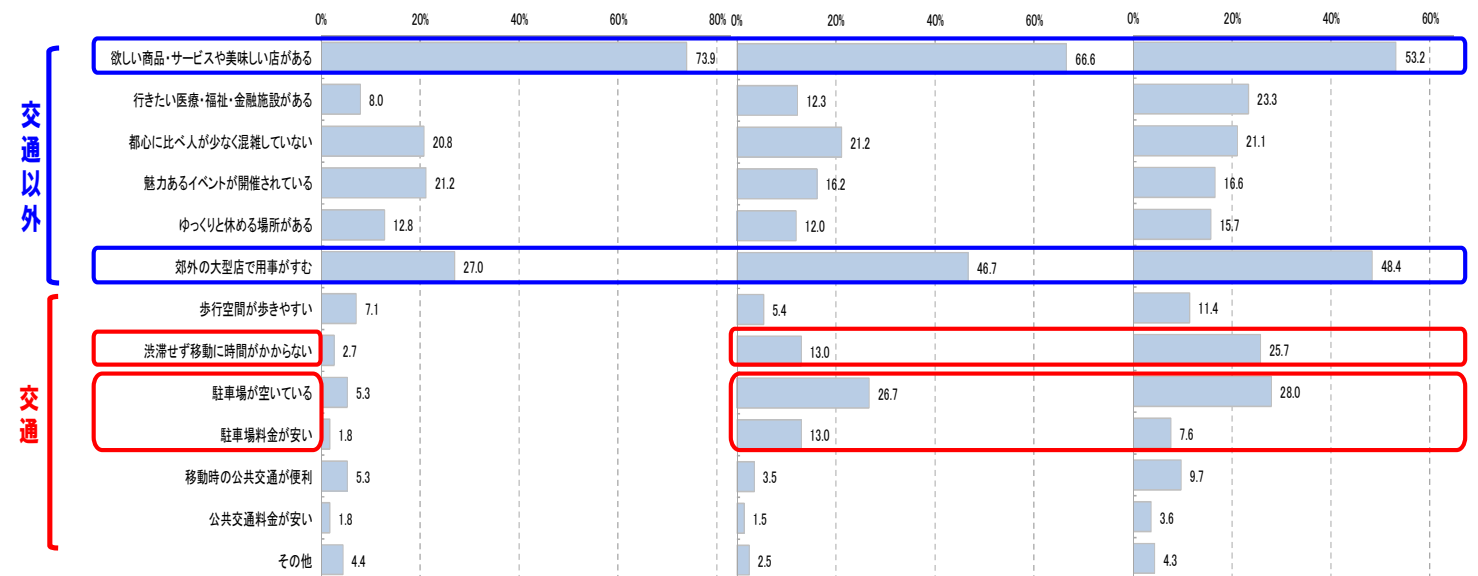


※行く頻度について、ほぼ毎日、週に数日、月に数日と回答した人を対象

### 【設問】買い物や娯楽などの私用目的で、「札幌市内郊外部または周辺都市」へ行く理由(複数回答)

- 交通以外では、「**欲しい商品・サービスや美味しい店がある**」「**郊外の大型店で用事が済む**」が高い
- 交通関連では、30~64歳、65歳以上において「**渋滞せず移動に時間がかからない**」が高い。また、「**駐車場が空いている**」「**駐車場料金が安い**」も高く駐車場の利用しやすさを考慮する人が一定程度存在すると推察される

### 〇18~29歳 N=226    〇30~64歳 N=685    〇65歳以上 N=579



※行く頻度について、ほぼ毎日、週に数日、月に数日と回答した人を対象